

# ママ友の対立に関する研究

大塚 生子（おおつか せいこ）  
工学部 総合人間学系教室 講師

用途・応用分野：コミュニケーション、談話分析



## ■ 研究概要

ママ友関係は、育児期の母親にとって有益な、しかし時に困難を伴う、特殊な人間関係とされている。本研究は、人間関係の構築・維持・崩壊を取り扱うイン／ポライトネスの観点から、彼女らがどのように「対立」を行なっているかを考察するものである。ここでは、当該の対立において優位に立ちたいという感情（短期的目標）と、その後の相手との人間関係や評判を保とうとする長期的目標の対立による相互作用的なフェイスワーク（Goffman, 1967）に基づく複雑な戦略選択が見られる。

## ■ 研究の特徴

ポライトネスと比較し、日本語のインポライトネス研究は十分ではない。イン／ポライトネスを談話を通して構築・交渉される社会的実践と捉える。

- ① 一連の談話を通してみる相互作用的フェイスワーク
- ② イン／ポライトネスを一連のスペクトラムと捉える
- ③ 社会構築主義、discursive approach

